

事務事業評価資料

施策名	市民農園整備の推進		所管部局課名	農政環境部農政企画局総合農政課						
事業名	ひょうご市民農園整備推進事業		担当者電話番号	楽農生活係 内線3937						
事業目的	楽農生活の身近な実践の場となる市民農園整備を推進									
事業内容	食と「農」に親しむ「楽農生活」を実践する身近な場づくりとして、市町等による市民農園整備・推進に対し助成する レベルアップ型 ・事業内容 小規模市民農園の整備及び既存施設の向上に係る整備 ・事業主体 市町、農協、農業者の組織する団体、生産緑地内で農業体験農園を開設する者 等 ・事業費 1,500千円（県1/2、市町等1/2） 公社型 ・事業内容 公社が先導役として開設する市民農園の整備 ・事業主体 （社）兵庫みどり公社 ・事業費 3,000千円（県1/2、公社1/2） 日帰り型 ・事業内容 区画整備、多目的施設整備 等 ・事業主体 市町、農協、農業者の組織する団体 等 ・事業費 120,000千円（国1/2、市町等1/2）			事業開始年度	平成19年度～					
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額				
	事業費	(570千円) 570千円		(9,190千円) 69,190千円		(13,690千円) 73,690千円				
	人件費	1,783千円	従事人員 0.2人	1,694千円	従事人員 0.2人	1,672千円 0.2人				
	総コスト（+）	2,353千円	従事人員 0.2人	70,884千円	従事人員 0.2人	75,362千円 0.2人				
事業の目標	市民農園整備区画数：46,500区画（H27）			[目標設定理由] 県民に楽農生活を実践してもらうため、非農家世帯の約2%に相当する46,500区画の整備を目指す。						
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率（%）			
		目標値	年度				H19	H20	H21	
	市民農園整備区画数	46,500 区画	H27	34,059 (4千円)	35,200 (62千円)	42,300 (11千円)	73.2%	75.7%	91.0%	
評価結果	必要性	・本県が全国に先駆けて提唱する、県民が食と「農」に親しむライフスタイル「楽農生活」の推進を図るため、「楽農生活」の身近な実践の場として、市民農園の整備を推進する必要がある。								
	有効性	・市民農園整備費に対する助成は、市町、JA、農業者の組織する団体等、多様な実施主体を対象としている。また、地域の体制整備等に対する支援も行っており、過去5年間に1,085区画の整備を行うなど、市民農園整備に効果をあげている。								
	効率性	・市民農園整備に対する助成にあたっては、整備施設の実施基準を設けることで、質の高い市民農園整備が効率的に図られるように配慮している。								
	民間・市町との役割分担	・市町は、地域における運営・整備体制を整備するため、協議会の開催やニーズ調査、普及啓発活動等に取り組む一方、県は、市町等に対して指導や整備費の助成を行うなど、県と市町が連携して市民農園の整備推進を図っている。								
	受益と負担の適正化	・市民農園整備に対する助成制度は、県1/2、市町等1/2（又は国1/2、市町等1/2）となっており、地元市町等は受益に対して適正に負担をしている。								
実施方針	方向性	新規	③ 拡充		継続	実施手法の見直し				
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定			
説明	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
	説明	本県が提唱する、県民が食と「農」に親しむライフスタイル「楽農生活」をより一層定着させるため、「楽農生活」の実践の場としての市民農園整備を今後も積極的に推進する必要がある。 なお、市民農園の整備が進まない地域における整備を推進するため、兵庫みどり公社が先導的に市民農園を整備する実施箇所数を拡充する。（平成20年度：1箇所 平成21年度：5ヶ所）								